

Mizuho Daily Market Report

2023/10/5

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.85	149.12	+0.10	▲0.51
EUR	1.0484	1.0504	+0.0037	+0.0001
AUD	0.6319	0.6325	+0.0023	▲0.0028
SGD	1.3729	1.3721	▲0.0010	▲0.0005
CNY	7.2983	7.2980	+0.0000	▲0.0138
MYR	4.7328	4.7300	+0.0062	+0.0213
THB	37.10	37.07	+0.03	+0.53
IDR	15641	15632	+52	+112
PHP	56.71	56.71	▲0.09	▲0.23
INR	83.24	83.24	+0.03	+0.01
VND	24393	24406	+13	+8

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.733%	▲6.3 bp	+12.5 bp
日本(10年)	0.809%	+4.2 bp	+6.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.919%	▲4.9 bp	+7.6 bp
オーストラリア(5年)	4.240%	+7.3 bp	+15.4 bp
シンガポール(5年)	3.430%	+9.0 bp	+8.5 bp
中国(5年)	2.525%	+0.0 bp	▲1.1 bp
マレーシア(5年)	3.826%	+8.4 bp	+10.5 bp
タイ(5年)	2.919%	+7.7 bp	+5.0 bp
インドネシア(5年)	6.888%	+16.0 bp	+37.5 bp
フィリピン(5年)	6.200%	+1.7 bp	+8.8 bp
インド(5年)	7.257%	+0.3 bp	+8.0 bp
ベトナム(5年)	1.920%	+0.0 bp	▲6.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,129.55	+0.4%	▲1.3%
N225(日本)	30,526.88	▲2.3%	▲5.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,099.85	+0.1%	▲0.8%
ASX(オーストラリア)	4,010.91	▲0.8%	▲2.6%
FTSE(シンガポール)	3,147.39	▲1.4%	▲1.6%
SSEC(中国)	3,110.48	+0.0%	+0.1%
KLSE(マレーシア)	65,226.04	▲0.4%	▲1.4%
SETI(タイ)	6,886.58	▲0.8%	▲0.7%
JKSE(インドネシア)	1,415.84	▲0.3%	▲1.7%
PSE(フィリピン)	6,298.20	▲0.1%	▲1.2%
SENSEX(インド)	1,451.25	+0.3%	▲3.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,128.67	+0.9%	▲2.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	275.43	▲2.2%	▲4.2%
金	1,821.36	▲0.1%	▲2.9%
原油(WTI)	84.22	▲5.6%	▲10.1%
銅	7,875.00	▲0.7%	▲2.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.50	—	150.50
EUR/USD	1.0450	—	1.0550
AUD/USD	0.6320	—	0.6500
USD/SGD	1.3620	—	1.3740
USD/CNY	7.2900	—	7.3400
USD/INR	4.7100	—	4.7350
USD/THB	36.60	—	36.90
USD/IDR	15610	—	15650
USD/PHP	56.50	—	57.20
USD/VND	82.80	—	83.45
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台前半でオープン。朝からじりじりと値を上げるも、介入への警戒感の強まりから上値は重く推移した。その後も、当局の動きに対する警戒感がより一層強まり、身動きの取りづらい状況が続く中、その後は149円台前半での狭いレンジ内での推移に留まり、そのままの水準で海外時間に渡った。
アジア通貨は下落。米連邦準備理事会(FRB)の金融引き締めが長期化するとの見方で米国債利回りが上昇し、アジア通貨は軟調に推移した

海外時間のドル円は149円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米9月ADP雇用統計指数が予想を下回り、148円台後半まで下落。その後149円台に戻した。しかし、続いて発表された米9月ISM非製造業景況指数のヘッドラインは予想以上の伸びた一方で、構成指数の雇用と新規注文の部分では予想より悪化した内容を受け、売りが優勢となり148円台後半まで値を下げた。午後は米株式市場の堅調な展開につれ高となり、徐々に値を戻し、149円台前半でクローズ。

【金利】

米債市場は前日比で低下して終了。米9月ADP雇用統計が市場予想比で大きく弱含んだことから、一部利上げ期待が後退し、カーブはフルスティープ化。米30年債も一時5%をタッチする水準まで上昇していたが、指標をきっかけに買い優勢に転じており全部売りは一服。ISM非製造業景況指数も前月からの活動拡大ペースの鈍化を示唆する結果となっていた。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。日銀の介入に対する警戒感の高まりに加え、予想対比較調な米9月ADP雇用統計などを受け、米金利が調整したこともあり、ドルの上値は重くなったと思われる。とはいえ、大きく円買いが進む材料は見当たらず、むしろ今後の米指標や日銀介入への警戒感がやわらぐことで、再び円安が進む可能性には留意したい。

【本日の予定】

(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 8月 シンガポール 小売売上高
(アジア) 8月 豪 貿易収支
(アジア) 9月 インド PMサービス業
(アジア) 9月 シンガポール 外貨準備高
(アジア) 9月 タイ CPI
(アジア) 9月 フィリピン CPI
(アジア) 休場 中国
(欧州) 2Q 英 時間当たり生産高(確)
(欧州) 8月 独 貿易収支
(欧州) 9月 独 建設業PMI
(欧州) 9月 英 建設業PMI
(欧州) 9月 英 新車登録台数
(米国) 8月 貿易収支
(米国) 9月 チャレンジャー人員削減数
(米国) テイラー・サンフランシスコ連銀総裁講演
(米国) マスター・グループ・フロント連銀総裁講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。